

## 令和3年度 第2回 長野市林業振興審議会 概要

日 時：令和3年12月23日（木）午後3時から午後5時まで

場 所：長野市役所第二庁舎8階281会議室

出席者：委員12名、事務局6名 計18名

次 第：1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 森林整備に関するアンケートの実施について

(2) 長野市森林経営管理計画（案）について

(3) 長野市森林経営管理計画策定までのスケジュールについて

議事（概要）

議題（1）森林整備に関するアンケートの実施について

資料1-1, 1-2に基づき事務局から説明

委員意見

・森林所有者も森林所有されてない方も、アンケートの回答傾向がほとんど変わらない。多くの市民の方々が、まだまだご存知ないし、森林所有者の方ですらも、あまりご存知にないので、今後も広報に力を入れていく必要がある。

・山林からの収入がないと、関心もない。だから所有している林地の場所が分からなくても苦にならない。だから所有林地の有無に関わらず同じ状況。だからこれをどうしていかなくやいけないかという問題。収入が上がるような方向にもっていかないと。

・森林税の徴収が始まる令和6年の時にもう1回こういったアンケートをできれば、もう少し、皆さんの意見が違ってくるのではないかと。

・東日本大震災の復興税を転換したということで、納める税金が増えるというイメージではなく、もう取られている税がそのまま変わるので、そういった形だと、広報にちょっと載せただけだとそんなに周知が進まないのかなとは思っている。

・自分で経営管理したい、委託先を探したいという方もいる。所有者として意欲がある方もいる。そういう人達をどうやって振り向けるか。このアンケートをしたからには、やはり、座談会とか打ち合わせ会とか、それから説明会とか、そういうものを工夫してやって

く以外ないと思う。

・こういう自分で経営をしたい、或いは、委託先を探したい、何とか自分でしていきたいという方の属性がどういうところなのかということについてはしっかり見ておく必要がある。

地域的な問題はないかどうか、それから持つてゐる森林の規模がどのぐらいか。或いはその持つてゐるところの、樹種がなにで、それが地形的にどういうところか、その意識が実現可能なような環境に置かれてるか。

・アンケートをどうとらえるかというコメントはかなり気をつけたほうがいい、慎重に扱ったほうがいい。データとしてこういう状況ですとお見せするなら全然いいけれど。とらえ方について、かなり慎重にやらないと誤解を受けると思う。その辺、ご注意いただきたい。

## 議題（２）長野市森林経営管理計画（案）について

資料２, 2-2 に基づき事務局から説明

### 委員意見

・ 9 ページはタイトルは高性能大型林業機械というふうにさせていただいたらどうか。それで、脚注の方に、主要林業事業体の保有する台数、としたほうがスッキリするのでは。

・ 14 ページからについて、手入れするのは人工林で、天然林はすることない、そのところを丁寧に導入してかないと、森林全体の話なのかなというふうにとる方も多分出てこられる。一般の方へ向けていると思うからその辺は丁寧にやったほうがいいんじゃないか。

・ 19 ページについて、20,914ha が人工林天然林含まれるなら、45%かけてるのはおかしい。天然林も切りますって話になる。この計算により積算するときに、天然林と人工林にちゃんと分けて積算しないと。

・ 19 ページについて、林業適地のみを市が積極的に関与するのはいかがなものか。不適地こそ市が積極的に関与すべきと思う。林業適地は積極的に関与しなくても推進されると思う。

・ 16 ページは真ん中の図にも、森林所有者との説明会について盛り込んだらどうか。

・18 ページは伐採に主眼が書かれてるように感じる。もちろん、伐採が済むと地拵えで造林保育がある。そういうふうなことも触れていただいた方がいい。一般の方向けということであれば、細かい数字を出すよりも、そういうところで丁寧に、切ったら植える。こういうような平準化を図っていくことが大事なんだということを書くのが大事。

・14 ページの図に、アンケートにおいても災害の防止ってことで水源を蓄える働きとあるので、ここには、水源かん養保安林も、今の気候変動の中では大事な意味を持ってるので、この保安林の種類として、ちょっと崩壊危険度と整合性が悪いかもしれないが、あえて入れて欲しい。

・現状の間伐はこういう形(切り捨て)だけど今後は搬出を増やしていきますって、一文書いて欲しい。

・木材生産に関してはとてもよく書かれているが、令和6年度から、全員に1人当たり1000円徴収となれば、誰もが恩恵をこうむっている公益的機能について、理解が得られるような回答が必要。全戸に配布したのでそこから帰ってきたことに関して、答えはやっぱりアンケートをとった側がしなければいけない。

・公益的機能は森林全部が持っているが、人間が目的を持ってコントロールできるのが人工林。今その人工林が非常に崩壊の危機に直面している。それを長野市としては、何とかしていきたいというのが、この計画書の根本だと思う。林業的な管理が中途半端になってしまっている森林が比較的多くなった人工林に関しては、手を入れることによって林業的な手を入れるってことで、単に木材生産がされるということだけではなくて、木材生産をきっちりしてきているというのがイコール環境材として機能を高めていくという、そういう前書きがあるといいなと思う。

・前置きがあり、コラムの中で天然林はこうです人工林はこうですって話があり、その中でやっぱり人工林の管理は喫緊の問題なんだよという話があり、だから現状を示すことで、今すぐやらなきゃいけないっていう、それで、そのためには14ページ以降が、現実的な対処という流れが分かりやすい。

・13ページの一番上ってのが森林経営管理の方向性とかねらいとかっていうのがあった上で、14ページに方針っていうのがあった方が多分繋がりやすい。その時に、先ほどのような文面で特に人工林に手を入れてくことによって、などというようなことを、基本方針となる部分のところに入れるのが理想。

・14 ページ、図の方で赤い枠ってのはもう少し左の方にずれてって管理されてる森林の横まで繋がっててもいい。

・14 ページの、この中に土壌が保全されている、流出しやすい、これは書かないほうがいい。多分管理されてる森林、されてない森林っていうふうに見た方がよい。森林が機能するところっていうのはその崩壊のすべてに関わるわけではないので書き過ぎ、森林がそんなとこまでコントロールするだけの能力を持ってるわけではない。

そうなったときに、右側の危険度が高まる方が管理されてない森林という書き方もいかなものか、ということになるので、ここは書き方と工夫したほうがいいかもしれない。災害に強い森づくりはいい。これは別に強い弱いの話だから相対的な話。

・25 ページのところ野生鳥獣による森林被害のところ、シカ皮剥ぎというのも実は、ダメージが大きいので、追加していただきたい。多分森林整備して、人工林が増えてけば皮剥ぎの被害はどんどん増加すると思う。

・31 ページのふれあい体験事業について、小学校の授業2コマ分の1.5時間以上を補助対象としたらどうか。

・31 ページの補助要件など、細かい話を書くってのはバランスに欠ける。将来的にわたって今後検討して、そこについても改正する可能性があるものであれば、あまりきっちり書く必要はない。疎密がある。何年かに1回出す計画書だということ念頭に置いて、細かく今の段階のことだけを書いてしまうと、活動しようとしてることを抑制してしまう可能性もある。

・36 ページにPDCA サイクルとあるが、この最後のところに、5年に1回の計画の見直しを行いますと書いてあるのであれば、その前に具体的な数字に基づいてって一文を入れることで、今後、より具体的に、より見えやすいものに変えていけるんじゃないか。

### 議題（3）長野市森林経営管理計画策定までのスケジュールについて

資料3に基づき事務局から説明

#### 委員意見

特になし。